



鳥居には富士製鉄時代に製造されたコルテン鋼が使用されている(昭和40年完成)

日本の近代製鉄発祥の地、釜石。安政4年12月1日(1858年1月15日)、大島高任が日本で初めて洋式高炉からの出鉄に成功した。明治27年(1894年)には、野呂景義らが日本初のコークス銑製造に成功するなど、釜石は黎明期のわが国製鉄技術をリードした。釜石製鉄所の安全・生産性向上の氏神を祭る山神社には、初のコークス銑で鑄込まれた扁額が今も残る。



[明治27年11月 山神 以大高爐初湯鑄之 釜石鑄山]とある

新日鉄の

ECO
Products

さびにくく加工性のよいめっき鋼板 **スーパーダイヤモンド[®]**



中部国際空港旅客ターミナルビル天井パネル



(株)ロック・フィールドの新神戸工場

スーパーダイヤモンドは建材製品や住宅資材に使われ、日本国内では、建材薄板加工業者のネットワークである「スーパーダイヤモンド倶楽部」を構築し、中部国際空港をはじめとする多くの物件で採用されてきました。海外では今般、豪州・ブルースコープス社と提携。同社の持つ建材加工拠点・販売ネットワークを活用して、加工・販売し、海外建材分野でのスーパーダイヤモンドの一層の浸透を図っていきます。

- 1 **大変さびにくい**
鋼板の平面だけでなく端面もさびにくく、耐アルカリ性も良好です。
 - 2 **加工性もよい**
曲げ・絞り加工などの加工性がよく、傷が付きにくく仕上がりもきれいです。
 - 3 **革新的なめっき構造**
後めっき・後塗装が不要となり、加工コストダウン・納期短縮に貢献します。
- スーパーダイヤモンドは、亜鉛を主に、約11%のアルミニウム、約3%のマグネシウムおよび微量のシリコンで構成されるめっきを施した新しい高耐食性めっき鋼板です。従来のめっき鋼板に比べて、大きな特長があります。